

みなさん暑い中、お疲れさまです。やまぐち障害者解放センターより、連帯のメッセージを読み上げます。今年すばらしいことがありました。国連では、122カ国の賛成で、核兵器禁止条約が可決されました。唯一の被爆国と言っている日本は、反対し会議に参加しませんでした。このことが表しているのは、安倍政権が核武装も含めた戦争のできる国を目指しているからに他なりません。断固弾劾しましょう。

障害者においては、一年前の津久井やまゆり園で起きた障害者殺害事件は、この社会の障害者に対する差別抹殺攻撃が強まっていることを震撼（しんかん）させました。この事件で安倍政権は、精神障害者に対する差別拘禁、治安弾圧体制づくりへと向かい、精神障害者に対する日常的な警察の監視を強めようとしています。私たち障害者からすれば、いかなる障害があろうと、同じ社会で生きていける社会へ向けて、宣伝をしていかなければなりません。私たちが元気に街なかを歩き、買い物をして、出先で政治論議をすることが、活動のひとつであると思っています。

また、障害者福祉は、平和でなければ成り立ちません。私たちは、安保法制の裁判の原告になりました。まだ順番が来てないので発言はしていませんが、いかに安保法制下での生活が、障害者差別を助長し、私たち自身が生活しにくくなっているかを表現したいと思っています。続けて、3月の上関原発反対の集会にも出て、壇上にあがりました。原発も、人間の命を奪うものです。断固反対します。今年も5月、7月に沖縄に行き、沖縄との連帯をかけ基地反対の行動をしてきました。安保も基地も原発も核兵器もない、一切の差別のない社会づくりを目指し、皆さんとがんばっていきたいと思います。